

ハンドシーラー KL-196 簡易マニュアル

チューブシール

1. メインユニットとハンドユニットをRFケーブルで接続します。
2. 電源スイッチをオンにします。バッテリーの充電レベルが正常であることを確認してください。充電レベルが十分でない場合は再充電してください。
※ 安定した連続動作のためには、バッテリーレベルランプが2つ以上で操作してください。
4. シールヘッドにチューブを挿入します。
5. トリガーレバーを引きます。シールランプの赤色の点灯を確認してください。
6. 赤いランプが消灯したら、約1秒以上待ってからレバーを離します。
7. チューブを取り外し、シール状態を確認してください。

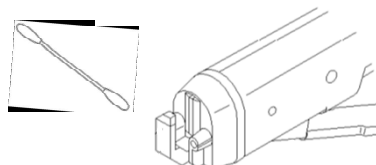
バッテリーの充電

1. 充電器のDC充電プラグをメインユニットのフロントパネルの充電ジャックに差し込みます。充電ランプが点灯もしくはゆっくり点滅します。時間が経過すると、バッテリーレベルランプが順次点灯していきます。
2. バッテリーレベルが満充電に達すると、充電ランプが急速に点滅します。
3. 満充電となり、充電ランプが急速に点滅したら、メインユニットの充電ジャックから充電器のDC充電プラグを外します。

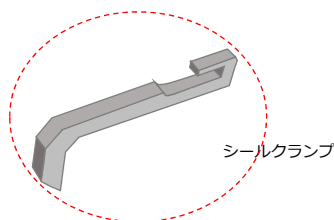
清掃

- ・ シール時にチューブの内容物が漏れ出た場合や、シールヘッドに汚れが見られる場合、シールするときにアーク放電が起こる場合などは、シールヘッド、シールクランプを清掃してください。
- ・ シールヘッド、クランプに汚れ等を付着したままにしておくと、アーク放電が生じるようになります。定期的に清掃してください。
- ・ シールヘッド、クランプに汚れや薬液等を付着したままにしておくと、付着した汚れが粘着・凝固し、正常に操作できなくなる場合があります。
- ・ 清掃に水、中性洗剤、消毒用エタノール等を使用された場合は清掃後に完全に乾かしてください。

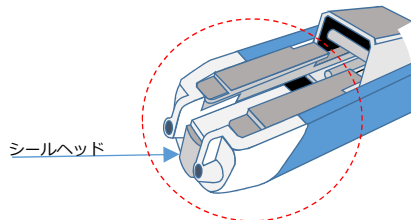
1. 電源スイッチをオフにします。電源コードも抜いてください。
2. メインユニットとハンドユニットからRFケーブルを外します。
3. ヘッドプロテクターを外します。
4. シールクランプを外します。
5. シールクランプ、シールヘッドを乾いた布や中性洗剤、消毒用エタノールを染み込ませた綿棒等で、清掃してください。
洗浄後は完全に乾かしてください。
6. シールクランプとヘッドプロテクターを組み立てます。
7. メインユニットとハンドユニットをRFケーブルで接続します。
8. 電源スイッチをオンにし、シールテストをしてください。



赤丸の範囲に汚れが付着しないように清潔に保ってください。



シールクランプ



シールヘッド

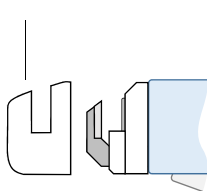
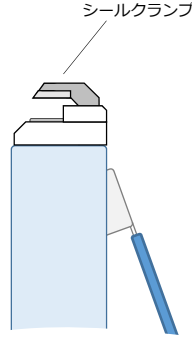
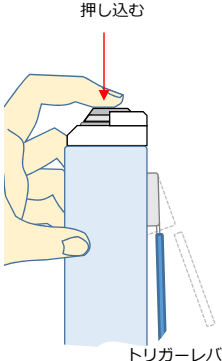
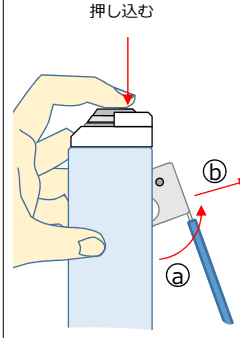
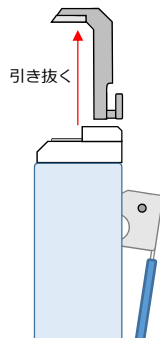
必ず取扱説明書の内容をご確認の上で、ご活用ください。

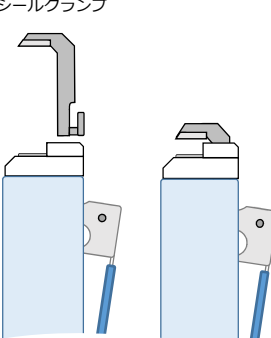
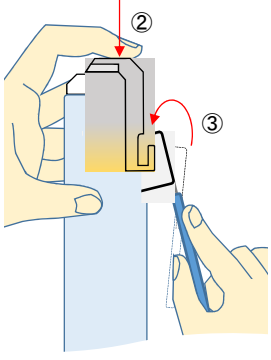
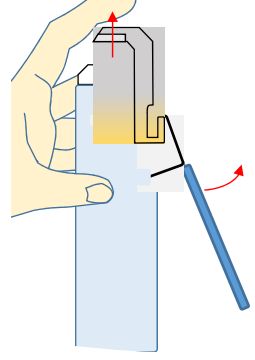
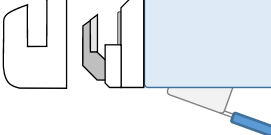
SBカワスミ株式会社

〒210-8602 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番4号
TEL 044-589-8070 URL www.sb-kawasumi.jp

196-2110-01-KL

ハンドユニットシールクランプの取り外し／組み付けマニュアル

シールクランプの取り外し方				
① ヘッドカバーを外す	② 縦に持つ	③ シールクランプを押し込む	④ トリガーレバーを外す	⑤ シールクランプを引き抜く
 ヘッドカバー	 シールクランプ	 押し込む トリガーレバー	 押し込む ① ②	 引き抜く
ヘッドカバーの両脇を持ってカバーを外します。	ハンドユニットを縦に持ちます。	- シールクランプを指で奥まで押し込みます。 - 自然にトリガーレバーが垂れ下がります。	- シールクランプを押し込んだまま、①トリガーレバーを開き、②横に引き出します。 - トリガーが外れると、横から見るとトリガー付け根に半円が見えます。	トリガーレバーが外れて緩んだ状態になったら、シールクランプを上引き抜きます。

シールクランプの組み付け方				
① シールクランプを差し込む	② シールクランプを奥まで押し込む ③ トリガーレバーのクランプバーをクランプフックにはめる	④ シールクランプを固定する	⑤ ヘッドカバーをはめる	
 シールクランプ	 ② ③			
清掃して乾かしたシールクランプをハンドユニット本体に差し込みます。	シールクランプを指で奥まで押し込み、「クランプフック」にトリガーレバーの「クランプバー」を引っ掛けます。	シールクランプを押し込んでいた指を離すと、クランプが正しい位置に戻り、トリガーレバーが固定されます。	ヘッドカバーの両脇を持ってカバーをはめます。	

必ず取扱説明書の内容をご確認の上で、ご活用ください。